

富士時報

FUJI ELECTRIC JOURNAL

11

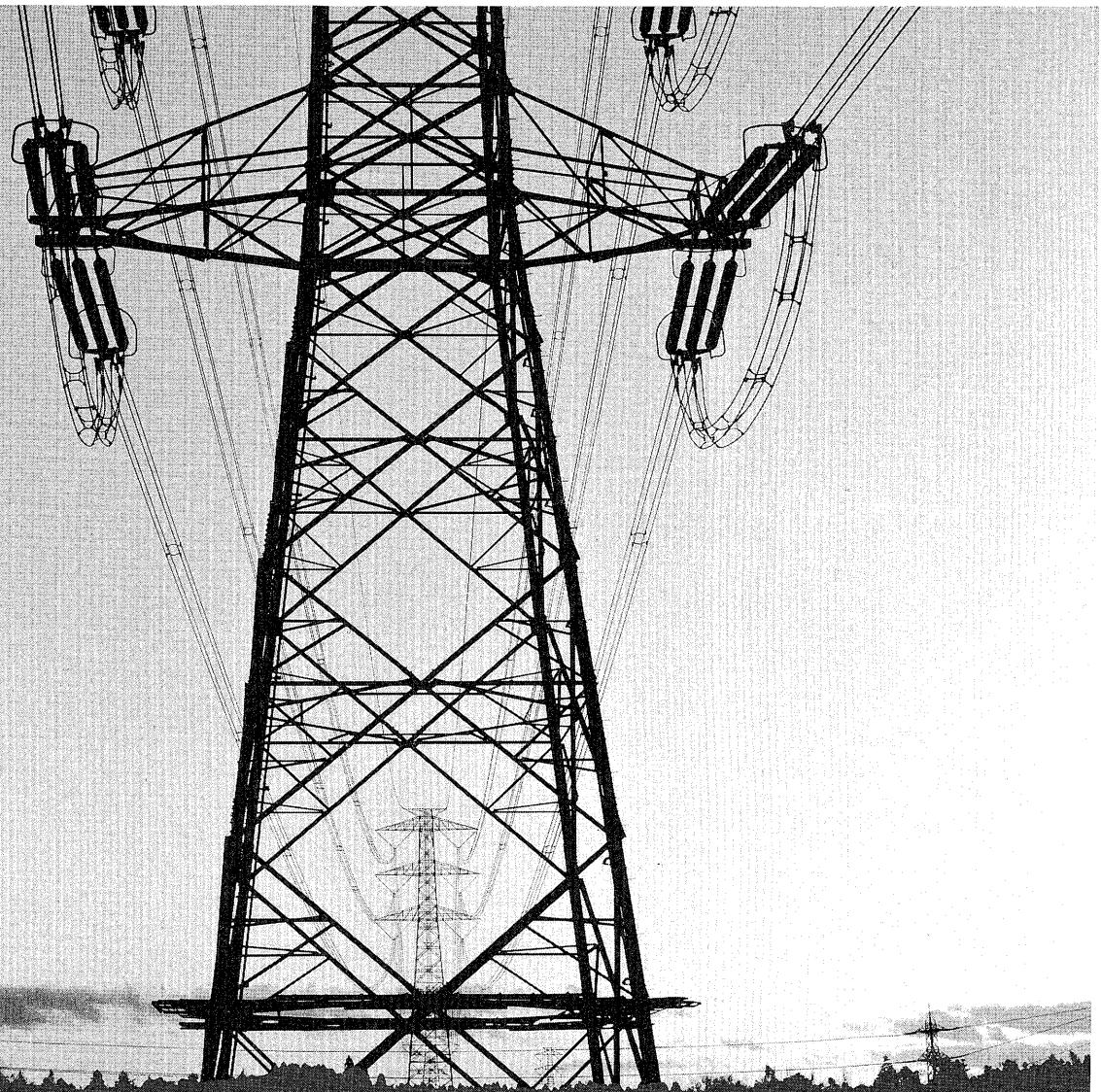
1993 VOL66

変電技術特集



FUJI
ELECTRIC

聞こえますか。技術の鼓動。——富士電機



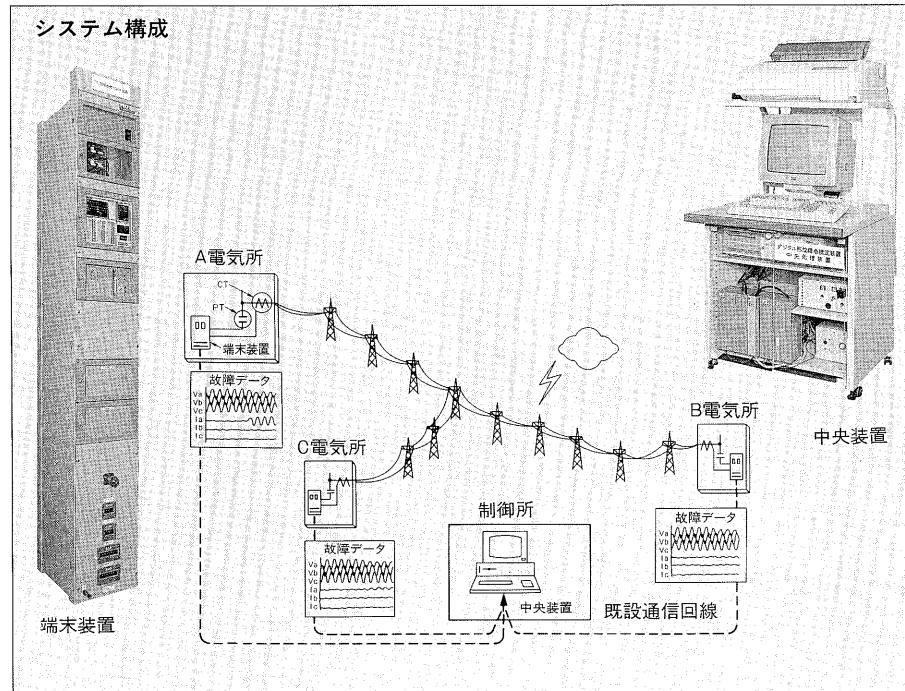
ここにも、富士電機の技術が !

デジタル形多端子送電線故障点標定装置

送電線の故障復旧の、一層の迅速化と省力化のために、系統構成や運用条件の制約を受けることなく、高い標定精度でしかも経済的な故障点標定装置の出現が望まれていました。

富士電機では、デジタル形保護継電技術を基に、「片端子形故障点標定装置」を1984年に製品化して以来、すでに多数のご使用実績を得ています。

この「デジタル形多端子送電線故障点標定装置」は「片端子形」の実績を基に開発した、さらに標定精度の高い、コスト的に優れた新方式の故障点標定装置です。本装置は標定対象送電系統の各端子に端末装置を設け、既設の通信回線を利用して故障時の電圧・電流値を中央装置に伝送し、総合標定演算を行うことを特長としています。





*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する商標または登録商標である場合があります。